

RIKKYO UNIVERSITY
VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE
2021.02.17

こんにちは。立教大学ボランティアセンターです。
2月13日（土）深夜、福島・宮城を襲った震度6強の地震で、驚かれた皆さんも多かったと思います。

被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。
東日本大震災から10年。立教生の皆さんの多くは小学生だったと思いますが、あの日3/11のことを覚えているでしょうか。
奪われたもの、失ったものは計り知れません。しかし、そこから私たちが学んだこともたくさんあります。

No rain, no rainbow.

今週月曜日土砂降りの大雨の後、新座キャンパスではきれいな虹がかかりました。七色の鮮やかな橋は、新座キャンパスの白いチャペルの建物から大きく弧を描いて息をのむ美しさでした。
やまない雨はありません。今のコロナの状況も、辛い出来事も、やがて来る美しい未来への第一歩と信じましょう。

CONTENTS

- 1. ボランティアセンターよりお知らせ
- 2 学生コラム
- 3. 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報
- 4. オンラインでできるボランティア／セミナー等情報紹介

=====

(1) ボランティアセンターよりお知らせ

=====

【海外ボランティア講座 HP 開設のお知らせ】

現在、新型コロナウイルスの影響により、海外渡航やボランティア活動など対面での課外活動を行うことが困難な状況となっています。
このような状況下においても、新入生をはじめ、「海外ボランティア」に関心のある学生が、引き続き多いことが分かり、私たちは対応を検討してきました。
そしてこの度、「海外ボランティア」の必要性和魅力を伝えるため、海外ボランティア主催団体の紹介と参加者の体験談から構成される「海外ボランティア講座」を、オンデマンド配信することになりました。

さまざまなことが行えるようになった段階で、すぐにみなさんの活動が再開できるよう、ぜひご活用ください。まだまだ、先が見えない状況ではありますが、ものごとを前向きに考える助けになれば幸いに思います。みなさんのご視聴をお待ちしています。

https://spirit.rikkyo.ac.jp/volunteer/contents/SitePages/overseas_volunteer.aspx

【ボランティアセンター動画が完成しました！】

この度 2021 年度新入生向けオリエンテーションウェブサイト、ボランティアセンター主催プログラム「清里環境ボランティアキャンプ」「農業体験 in 山形県高島町」の紹介動画が掲載されます。

この動画は、観光学部 4 年生の飯塚諒さん、コミュニティ福祉学部 3 年生の三浦大樹さんの二人が制作。ナレーションはコミュニティ福祉学部 3 年生の浅井美南さんが担当しました。若い感性と表現力溢れる素敵なお動画になり、スタッフからも大好評です。

この動画は後程ボランティアセンターホームページにも掲載予定です。ぜひ楽しみに。

ボランティアセンターでは今後も学生と繋がり、みなさんの声を反映させながら共に色々な取り組みをしていきたいと思っています。動画制作、企画運営に興味のある皆さんはぜひボランティアセンターまでお知らせください。✉volunteer@rikkyo.ac.jp

=====

(2) 学生コラム

=====

今日のコラムは、まもなく卒業を迎える現代心理学部 4 年生の吉永桂大さんです。

吉永さんは 1 年生の頃から新座のボランティアセンターによく立ち寄ってくれていました。4 年間本当に私たちスタッフも良い刺激をたくさんもらいました。ありがとうございます。最後に在校生のみなさんへ・・・

現代心理学部心理学科 4 年生 吉永桂大

ボランティアサークルにも外部の団体にも所属しない立ち位置で 4 年間ボランティアに携わってきた私にとって、ボランティアセンターから「【ボランティアで学んだこと】をテーマとしてメルマガを書いてほしい。」と依頼があるとは思いませんでした。

実際、団体に所属している人に比べて私は、活動回数も少なく、長期的に人や地域と関わるといったこともなかったので、そういった交流が少ない分「地域と人との共生に感動した」「人の思いは素晴らしい」という、情動溢れるコメントを残すことはできないと思う。

ただ、そんな自分だからこそ、ボランティアの魅力について別の視点から考えることができるのかもしれない。特に、新入生やこれからボランティア活動に参加をしてみたいと思っている人たちに向けて、参考になればと思う。

先に結論をいえば、私にとってボランティアの魅力は「自己分析の機会」をいただける点だと思う。具体的に言えば、ボランティア活動を通して、他者の考えを知ることによって自分の考えを客観視できるようになるということだ。

立教大学に通う学生は頭が切れる人が多い。大抵、ボランティアの概要や日程を見ただけ

でどんな活動をして、どんな議論が展開され、どんな結末を迎え、どのように締めくくられるのか想像できてしまう人が多いと思う。

しかし、参加するとわかるが、実際には全く予想できない展開が起こることも多々ある。

高島農業体験では、日付が変わるまで話し合いが続いたり、陸前高田の町おこしでは、「町の人の思いを絶対に叶えたい派」と「時間的な問題から、確実にできるものをやろう派」で、意見の相違が生じ、朝まで6時間以上議論した日もあった。

一体、なぜこのような事態に陥ってしまったのか。

おそらく、このようなボランティア活動は合理的・論理的な段階を超越する、倫理的・正義的といった「本能的なもの」を理性的に議論するという、いわば「矛盾をはらんだ場」でもあるからだと思う。

高島農業体験のテーマの一つに「生きるとは」というものがあった。多くの人はこう感じるだろう。「それは人によって違うのは当たり前だからそれを考えたって仕方のないことだ。意味のないことだ。」と。しかし、そのような価値観や倫理観というのは誰しもが持つものであり、それを個人で抱えこみながら生きていくと、段々とそれが常識であると勘違いしてしまうようになる。

特に大学生のような、自分のコミュニティを自身で決定できる環境にいと、共感できないコミュニティには「さようなら」、一方で自分に合うコミュニティには「お邪魔します」と言いがらだ。それはそれで精神的に楽だが、これから社会に出ていく私達にとってそれは決して好ましいことではない。

様々な背景を持つ人々が協力して社会を作り上げているのだから、自分とは絶対に共感し得ない他者とも協力をする必要があるのだ。では、その時に「さようなら」と言い続けてきた人は自分とは全く異なる存在を寛容できるのか。そして自分を容認できるのか。

今、世界では「目に見える形での多様性」というものが溢れている。LGBT・女性・しょうがい者・老人・z世代・・・わざわざ文字化して、他の概念と差別化して、それを「多様性」内のカテゴリーの引き出しに入れていく。でも、「多様性」ってそういうことなのか。「多様性」なのにカテゴリーを設けてしまえば、個人の存在を絶対に理解できないのではないのか。

その人にはその人なりの考えがあり、それはその人を形付ける唯一無二のものだ。ボランティアはその活動を通じてそのことをより一層理解できると思う。自分の常識というのは、自分にしか存在しないのであり、他者の常識もまた他者にしか存在しない。そしてその常識はずれな世界同士で意見交換することで、段々と世界と世界をつなげる橋がかかってくるのだ。そこに初めて多様性の本当の意味を理解する事ができるのだと思う。そしてそれに気づくことは、自分自身を知ることとイコールであると思う。

もしボランティア団体に所属していれば、その団体のカラーや考えに染まり、このようなことを身にしみて実感しなかったかもしれない。今まで私は環境・教育・被災地支援・町おこし・地域共生などのボランティアに参加したが、雰囲気や参加している人の趣味は全く違い、いろんな考えを提示してくれた本当に貴重な期間だった。

最後になるが、もしこれを読んでいる人で、ボランティア活動をやるかどうかで悩んでいる人がいれば、ぜひやってほしいと思う。多くの人が自分の居心地の良いコミュニティに依存している中で、そこから飛び出し、他者へ思いを馳せることができる機会は社会人になる

んに覚えておいてもらいたいという思いも本企画には込められています。

皆さまからのたくさんのご応募お待ちしております。

プレゼント内容：岩手県陸前高田市のお米、醤油、味噌等5点セット

申込み期間：2月8日（月）10時～2月19日（金）16時

申込み方法：プレゼント企画申込みフォームから必要事項を入力してください。

<https://sites.google.com/rikkyo.ac.jp/rikutaka/>

配送予定期間：3月1日（月）～3月5日（金）

対象：立教大学学部生・大学院生

受付人数：1,000名

※配達の関係で、現在日本にいる方に限ります。

※お申込みくださった方の中から、1,000名の方にプレゼントいたします。

（送料を含め、全て無料です）

当選された方には、申込み期間終了後に校友会からメールをお送りいたします。

お渡し方法：入力いただいた住所に八木澤商店から直接お送りいたします。

※入力いただいた個人情報を八木澤商店にお伝えしますことご了承ください。

※配送日の指定はできません。不在の場合は、ご自身で対応をしてください。

プレゼントを受け取られた方へご協力をお願い：

今回受け取った商品等を、ぜひご自身のSNSで投稿してください。その際「#立教大学校友会」「#陸前高田プレゼント」「#八木澤商店」のハッシュタグを入れて投稿していただけますと嬉しいです。皆さまの声が陸前高田市の関係者の皆さまに届きます。

*お問合せ 立教大学陸前高田サテライト事務局 rrs@rikkyo.ac.jp

*陸前高田サテライトの取り組みを発信中

公式 Instagram (@rikkyo_rrs) https://www.instagram.com/rikkyo_rrs/

（４）オンラインでできるボランティア・セミナー

【アジアキリスト教教育基金（ACEF）より、オンラインシンポジウムのお知らせ】

ACEFは今年で創立30周年を迎えました。

これまでのスタディツアーやBDPとの共働でのバングラデシュでの教育支援のありかたをまとめ、岩波ジュニア新書より「SDGs時代の国際協力～アジアで共に学校をつくる」として2月19日に刊行されます。<https://www.iwanami.co.jp/book/b556140.html>
創立30周年を記念し、岩波ジュニア新書出版記念シンポジウムをオンラインで開催します。奮ってご参加ください。

日時：2021年2月27日（土）13:30-16:30

場所：Zoomでのオンライン開催（申し込み後にZoomのURLをおおくりします）

1部ゲストスピーカー：石川信克氏（結核予防会会長）、挨拶 船戸良隆顧問、
荒谷出理事長

2部：岩波ジュニア新書著者と読者のパネルディスカッション

15:30- 交流会 Zoomのブレイクアウトで船戸顧問やBDPスタッフとお話し、
スタディツアーの同窓会を開催します。

参加費：無料

お申し込み <https://forms.gle/fLntJYM1RBJNQac57>

立教大学ボランティアセンター

◎池袋キャンパス

場所：5号館1階

開室時間：月～金 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：30

◎新座キャンパス

場所：7号館2階

開室時間：月～金 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：30

◎ホームページ

http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html

◎メールアドレス

volunteer@rikkyo.ac.jp

◎Facebook

https://www.facebook.com/立教大学ボランティアセンター-537537806439867/?ref=aymt_homepage_panel

◎TwitterID

@rikkyo_volucen

http://twitter.com/rikkyo_volucen/

◎Instagram

https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja

◎ボランティアナビ

<https://spirit.rikkyo.ac.jp/volunteer/SitePages/navi.aspx>